

⑩ 日本国特許庁 (J P)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭63-195712

⑬ Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和63年(1988)12月16日

H 01 F 41/06

A-8323-5E

審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 矩形線材の巻線装置

⑯ 実 願 昭62-87902

⑰ 出 願 昭62(1987)6月5日

⑱ 考 案 者 井 谷 増 男 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シャープ株式会社 内

⑲ 出 願 人 シャープ株式会社 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

⑳ 代 理 人 弁理士 原 謙 三

⑲ 実用新案登録請求の範囲

被巻回部材を回転させる被巻回部材回転手段と、巻回する矩形線材を被巻回部材に案内する線材案内部材と、被巻回部材における矩形線材の巻回進度に応じ、被巻回部材に沿って線材案内部材を移動させる案内部材駆動手段とを備えた矩形線材の巻線装置において、

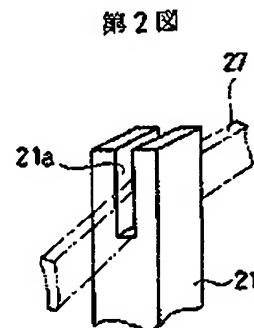
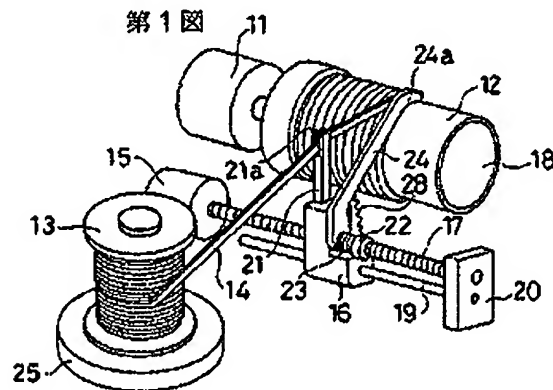
上記の線材案内部材は、矩形線材における被巻回部材の巻回周面との当接面が上記の巻回周面と対向する方向に矩形線材を案内する矩形線材案内部を有すると共に、被巻回部材に巻回される矩形線材を被巻回部材における巻回始端部方向へ押圧する線材押圧手段を設けたことを特徴とする矩形線材の巻線装置。

図面の簡単な説明

第1図乃至第3図は本考案の一実施例を示すも

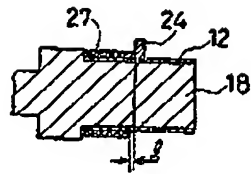
のであつて、第1図は矩形線材の巻線装置の全体構成を示す概略の斜視図、第2図は線材案内部材の要部斜視図、第3図は本装置による矩形線材の巻回状態を示す断面図、第4図は従来例を示す概略の斜視図である。

11はボビン回転モータ(被巻回部材回転手段)、12はボビン(被巻回部材)、14は矩形線材、15は送りねじ回転モータ(案内部材駆動手段)、16は線材案内部材、17は案内部材送りねじ(案内部材駆動手段)、18はボビン取付け治具(被巻回部材回転手段)、19は案内部材回転止め軸(案内部材駆動手段)、20は支持部材(案内部材駆動手段)、21aは矩形線材案内部、22は係止部材(線材押圧手段)、23はコイルばね(線材押圧手段)、24は線材押圧部材(線材押圧手段)である。



実開 昭63-195712(2)

第3図



第4図

